



大阪大学総合学術博物館第16回特別展 モダン中之島コレクション

“大大阪”時代の文化芸術発信センター

4月28日(木)～7月30日(土) 於：大阪大学豊中キャンパス 総合学術博物館

❖ 概要

大阪大学総合学術博物館は、第16回特別展『モダン中之島コレクション“大大阪”時代の文化芸術発信センター』を2022年4月28日(木)～7月30日(土)まで開催いたします。

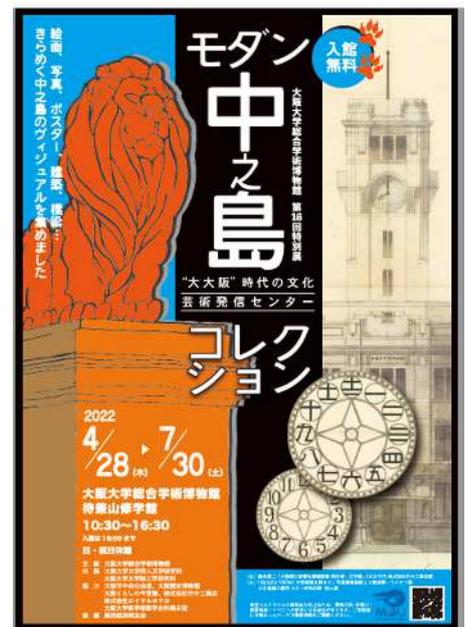
大阪・中之島は、江戸時代には蔵屋敷が並び、近代には大阪市庁舎をはじめ新聞社、図書館、ホール、ホテルが集積したシヴィック・センター(Civic Center)として発展しました。

戦後も、フェスティバルホールや具体美術協会の「グタイピナコテカ」の開館など、大阪の文化芸術の中心地であり、いまでも重要文化財に指定されている大阪市中央公会堂や大江橋・淀屋橋を中心に、地域全体を美術館に見立てた“エコ・ミュージアム”として機能しています。

本年の大阪中之島美術館の開館は、この地域をさらに新しい文化ゾーンへと変貌させ、世界的にもユニークな“美術館島”としての性格を強めることになりましたが、大阪大学も、大阪大学中之島センターを改修して美学、美術史、演劇学、音楽学、文芸学など芸術系の拠点として「大阪大学中之島アートセンター」の2023年開設の準備を進めています。

この動きを踏まえて本展では、大正14年(1925)東京市を抜いて日本最大、世界第六位となった“大大阪”時代を中心に中之島が文化芸術に果たした役割を、市庁舎のステンドグラスほか、パンフレットや絵画、ポスター、写真、地図、刊行物など、当時日常生活や社会に氾濫した“イマジユリイ”(イメージ図像)を中心に再検証します。

つきましては、本展示会の積極的なご取材をお願い致します。



❖ 開催情報・主催等

期間：2022年4月28日(木)～7月30日(土)

開館：10:30～16:30(入館は16:00まで)

※休館日：日曜・祝日(ただし5月3日(火)・4日(水)は特別開館) ※入場無料

会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館

(〒560-0043 豊中市待兼山町 1-20)

主催：大阪大学総合学術博物館

共催：大阪大学大学院人文学研究科、大阪大学大学院工学研究科

協力：大阪市中央公会堂、大阪歴史博物館、大阪くらしの今昔館、株式会社竹中工務店、

株式会社ロイヤルホテル、大阪大学医学部医学史料展示室

後援：関西経済同友会

※期間中、関連イベントの開催(対面予定)があります。



大阪大学
OSAKA UNIVERSITY

国立大学法人 大阪大学

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 1-1

TEL: 06-6877-5111 (代)

www.osaka-u.ac.jp

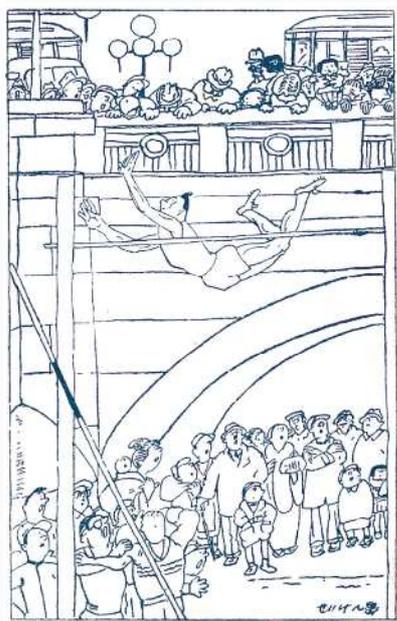
Press Release

❖ 展覧会構成と主な展示作品

第1章 大阪中之島 大パノラマ —江戸・明治・大正から「大大阪」へ—

第2章 シビックセンター遊覧 —モダン・ライフと都市施設—

第3章 深化する“アートアイランド” —新しい文化芸術の発信拠点—



▲藤原せいけん「今の中の島公園」
「大阪叢書 北濱界限 中の島界限」
1928年 個人蔵



▲武田五一「大阪市公会堂新築設計図 透視図」
紙本・インク・着色 1912年 大阪市蔵



▲初代長谷川貞信「浪花百景」より「たこの松」
大阪大学総合学術博物館蔵



▲安井曾太郎「薔薇」油彩・カンヴァス
1934年 株式会社ロイヤルホテル蔵

Press Release

❖ 関連イベント

<シンポジウム>

歴史の可能性を可視化する ー再現される大阪市中央公会堂コンパ案ー

日時:6月25日(土)13:00~16:30

会場:大阪市中央公会堂3F 中集会室

※このほか、ミュージアムレクチャーも開催予定。

詳細は当館 WEB ページからご確認ください。



大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館 周辺地図
※公共交通機関をご利用ください。